



# Weekly News

## 龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.09.07 No.00717

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>  
事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



### 本日のプログラム

【通常例会 09.07】  
特別月間・新世代  
社会奉仕委員会

### 次回のプログラム

【通常例会 09.14】  
決議 23-34  
川上会員

### 9月の主な行事：新世代のための月間

### 第 716 回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長  
ロータリーソング：手に手つないで  
ゲ ス ト：なし  
ビ ジ タ ー：なし

### 会長報告：長友芳郎



■本日は亀尾さんのロータリーの真髓をたっぷりと拝聴したいので会長報告は控えておきます。



幹事報告：川上 勉  
■未来の夢計画卓話者の派遣を希望されるクラブは事務局までご連絡下さい。

■藤代 RC：9月17日は休会、10月1日は商工

祭参加のため休会します。

### 委員会報告

#### ■ジュニアボランティアスクール

一閉校式・意見交換会一

この真夏に懸命に活動した「ジュニアボランティアスクール」は閉校式を迎えました。龍ヶ崎中央ロータリークラブも微力ながら社会福祉協議会の活動の一環として子供たちの活動を支援させていただきました。

日 時 平成 24 年 8 月 27 日(月)13:30～16:30

訪問先 障害福祉サービス事業所「ひまわり園」

13時30分に「ひまわり園」に集まったジュニアボランティアの子供たちは、「ひまわり園」の施設を説明して頂き、グループに分かれて子供同士の交流を

図ってもらいました。ひまわり園のお友達はとても絵が上手で、画家の北尾先生に教えて頂きながら一緒に絵の勉強をさせていただきました。また、たくさん作品を見せてもらいました。

意見交換会の後、4時から閉校式を行い、社会福祉協議会の青木常務理事から参加証書の授与が行われ、青木常務の御挨拶に引き続き、中央 RC の海老原社会奉仕委員長から子供たちへの励ましのメッセージが送られました。最後に、北尾画家より絵画の御指導を通してお気づきになった子供たちへの激励と期待の言葉を頂きました。(会報取材班：山口会員)



#### ■高校生ボランティアスクール

一介護体験・「竜成園」介護実習一

龍ヶ崎中央ロータリークラブが支援している夏休みのボランティアスクールもジュニアの部が昨日終了し、高校生ボランティアスクールに集う高校生の介護体験学習が行われました。

日 時 平成 24 年 8 月 28 日(木) 9:00～12:00

訪問先 介護施設「竜成園」

高校生 15 名に大学生ボランティア数名が参加した介護体験実習が「竜成園」で行われました。赤いエプロン(?)姿の学生たちの介護指導を職員の黒川様にして頂き、グループに分かれてお年寄りのお世話の仕方を初めて体験する姿はとても真剣そのものでした。

11時40分頃から行われた反省会では、体験者一人一人から苦労談も飛び出し、おばあちゃんとの接し方もわからなかった、トロミをつけて食べていた

だく、お年より一人一人にあった介護の仕方、…とても難しい課題が体験学習を通してつかめたことが良かった、等々で貴重な介護体験学習を終えることができました。介護施設「竜成園」の黒川さんをはじめ職員の皆さん、お世話になりました。丁寧な御指導に感謝しています。竜成園で子供たちとお付き合い頂いたおばあちゃん、おじいちゃん、有り難うございました。（会報取材班：山口会員）



## 本日のプログラム

### ロータリーの奉仕の理念

亀尾会員



■プログラム委員長から指定されたテーマは、--ロータリーの奉仕の理念--です。ロータリーの奉仕とは「奉仕の理想」のことを指していると思います。

奉仕の理想は（11月にこのタイトルで卓話が予定されています）ので、今日は簡単にお話ししておきます。Idealを理想と訳していますが、観念という意味もあります。これを平易にいうと考え方です。

すると奉仕の考え方の理念となります。理念とは理性の判断で得られる最高の考え。ですから奉仕の考え方の考えとなって、テーマの意味が理解できません。奉仕の理想でなければ、たぶん奉仕の実践のことなのか、だとすれば奉仕の実践の考え方となります。そうだとすれば、この答えは手続要覧に載っています。それは「社会奉仕に関する1923年の声明」通称、決議「23-34」の6がそれで、次にその部分を要略してみます。

- 他の仕事を邪魔したり、横取りしてはならない。
- 事業遂行の責任を負う用意と意志のない限り、その後援をしてはならない。
- 奉仕活動を選ぶ場合に、宣伝をその主たる目標としてはならない。が、遂行した有益な事業は正しい広報が行われるべきである。
- 他の機関が既に立派に行なっている事業に乗り出してはならない。
- ロータリークラブが独自に他と重複した機関をつくるよりも、現存の機関を活用することが望ましい。
- 地域社会全体の責任にかかわる場合は、単独で手

を下すより、地域社会全体の仕事になるように、そして、その結果にロータリークラブに帰すべき功績があっても、自分の方を最小限度に評価して協力者の手柄にしなければならない。

g)クラブがひと固まりになって行動する事業よりも、ロータリアン個々の力を動員する方がロータリー精神にかなっている。ロータリークラブの社会奉仕活動は、会員に奉仕の訓練を施すための研究室の実験と見るべきである。

以上が奉仕の実践の考え -- ロータリーの奉仕の理念 -- です。決議「23-34」も9月に卓話が予定されていますので、ここでは説明に必要な部分の引用だけに止めます。

後記：「ロータリーの奉仕」は「奉仕の理想」です。それが理念です。1910年シェルドンが「He profits most who serves his fellows best」を発表。1911年his fellowsを削除し宣言の結語として採択。1912年コリンズが「Serves, not self」を発表する。その後「Serves above self」となり1950年ロータリーのモットーとして採択された。

■ロータリーは、常に、職業奉仕の目的となる基本的な真理は、その利益が物質的な報酬か精神的な健全性や満足感か否かに問わず、奉仕こそが利益を得る基本であると……。

■ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情のあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

## 出席状況

会 員	16名	出席率	68.75%
出 席 者	8名		
出席免除者	2名	Make-up	3名
(定款第9条3節a)	1名	椎塚・鴻巣・米島会員	

## ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 6 件 11,000 円（本年度累計 89,000 円）

荒木会員：やっと来龍。いろいろな事から逃げて。  
海老原会員：今朝の最低気温は 27.6° 東京のこの夏が一番高い朝です。

川上会員：現況報告大詰めです。皆様協力お願いします。

長友会員：亀尾さん。ロータリーの真髓を宜しく  
山口会員：亀尾先輩のご指導を頂きます。

横山会員：社会奉仕事業に参加できなくて申し訳ありません。

**例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに城出 SAA  
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。**